



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 日本軽金属ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5703 URL <https://www.nikkeikinholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 企画統括室 広報・IR担当 (氏名) 石川 千津

TEL 03-6810-7162

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	313,002	10.5	15,559	13.8	15,093	15.6	9,440	19.2
2020年3月期第3四半期	349,651	7.6	18,040	22.4	17,874	24.6	11,690	26.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 12,049百万円 (4.1%) 2020年3月期第3四半期 12,563百万円 (16.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	152.46	
2020年3月期第3四半期	188.79	

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度期首に当該株式併合が行われたものと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	495,023	209,399	39.2
2020年3月期	470,004	201,198	39.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 194,130百万円 2020年3月期 186,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		4.00		5.00	9.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2021年3月期(予想)の1株当たり配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	415,000	10.9	18,000	26.9	17,000	27.6	10,000	33.8	161.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	61,993,750 株	2020年3月期	61,993,750 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	94,066 株	2020年3月期	72,576 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	61,916,316 株	2020年3月期3Q	61,921,513 株

(注)当社は、2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度期首に当該株式併合が実施されたものと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 当社は、2020年10月1日をもって、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。なお、株式併合を考慮しない場合の2021年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

- 2021年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 6円50銭
- 2021年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 16円15銭

○添付資料の目次

	ページ
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（セグメント情報等）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大により市民生活や企業活動の停滞を余儀なくされました。その後の中国や米国における早期の経済活動回復に続き、他の地域でも回復の動きがみられますが、先行きの不透明感は継続しています。わが国経済は停滞していた経済活動の再開により、自動車など回復の動きがみられる分野があるものの、予断を許さない状況が続いています。

このような環境下、当社グループにおきましては、パソコンや日用品関連分野の需要は堅調に推移し続けており、自動車関連分野では二次合金分野などで販売が回復してきているものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全セグメントで売上高が前年同期を下回りました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期の3,496億51百万円に比べ366億49百万円(10.5%)減の3,130億2百万円となり、営業利益は前年同期の180億40百万円から24億81百万円(13.8%)減の155億59百万円、経常利益は前年同期の178億74百万円から27億81百万円(15.6%)減の150億93百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期の116億90百万円から22億50百万円(19.2%)減の94億40百万円となりました。

なお、当社グループでは、2020年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画で、①新商品・新ビジネスの創出、②成長に向けた資源投入、③経営基盤強化を基本方針とし、持続的成長と中長期的な企業価値向上を図っております。

各セグメント別の概況は次のとおりです。

【アルミナ・化成品、地金】

アルミナ・化成品部門におきましては、主力の水酸化アルミニウム及びアルミナ関連製品で耐火物向けや自動車関連などの需要が落ち込み、化学品関連では凝集剤や無機塩化物などの販売減少により、売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期に比べ減益となりました。

地金部門におきましては、主力の自動車向け二次合金分野では自動車関連ビジネス全体が停滞した影響により、国内、海外ともに販売が大きく減少しました。中国や米国に続き、日本やタイでも販売が回復してきているものの、売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のアルミナ・化成品、地金セグメントの売上高は前年同期の783億39百万円に比べ138億29百万円(17.7%)減の645億10百万円、営業利益は前年同期の91億5百万円から22億27百万円(24.5%)減の68億78百万円となりました。

【板、押出製品】

板製品部門におきましては、半導体・液晶製造装置向け厚板の販売量は前年同期を上回り、板加工製品はパソコン需要の好調継続により前年同期と比べ販売が増加したものの、自動車向けや建材向けなどの販売減少により、売上高は前年同期を下回りました。採算面では板加工製品の販売増により、前年同期に比べ増益となりました。

押出製品部門におきましては、自動車関連向けの需要回復がみられるものの、建材関連などでの販売減少により、売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期に比べ減益となりま

した。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の板、押出製品セグメントの売上高は前年同期の776億65百万円に比べ73億18百万円(9.4%)減の703億47百万円となりましたが、営業利益は前年同期の27億98百万円から4億円(14.3%)増の31億98百万円となりました。

【加工製品、関連事業】

輸送関連部門におきましては、トラック架装事業はトラック需要減少の影響に加え、トラックを含む自動車関連ビジネス全体での停滞があった影響もあり、売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期と比べ減益となりました。

パネルシステム部門におきましては、クリーンルーム分野では、5G（第5世代移動通信システム）関連などの電子部品工場向けや医療・医薬関連は堅調であったものの、冷凍・冷蔵分野では、食品加工工場や店舗向けの物件における計画延期の動きなどもあり、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の加工製品、関連事業セグメントの売上高は前年同期の1,251億89百万円に比べ120億7百万円(9.6%)減の1,131億82百万円、営業利益は前年同期の61億59百万円から11億72百万円(19.0%)減の49億87百万円となりました。

【箔、粉末製品】

箔部門におきましては、リチウムイオン電池外装用箔はパソコン需要の好調継続に加え自動車需要が回復してきていることもあり販売が増加し、日用品関連も巣ごもり需要を受け堅調に推移しました。医薬向け加工箔での販売減少があったものの、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。

パウダー・ペースト部門におきましては、粉末製品では電子材アルミパウダーはパソコン需要の好調などにより堅調な販売となりましたが、ペースト製品は主力の自動車塗料向けの販売が減少したことから、部門全体の売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の箔、粉末製品セグメントの売上高は前年同期の684億58百万円に比べ34億95百万円(5.1%)減の649億63百万円となりましたが、営業利益は前年同期の26億69百万円から2億57百万円(9.6%)増の29億26百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ250億19百万円増の4,950億23百万円となりました。負債は、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ168億18百万円増の2,856億24百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ82億1百万円増の2,093億99百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の39.6%から39.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、新型コロナウイルスの影響により、第2四半期連結累計期間においては前年同期に対し減収・減益でしたが、2020年10月より12月までの第3四半期においては、自動車の生産回復の波及効果などにより回復傾向がみられ前年同期と比べ増益となり、2020年10月30日に公表いたしました連結業績予想での想定を上回る実績となりました。

しかしながら今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染再拡大により2021年1月に発令された緊急事態宣言が日本経済、及び当社グループの業績に与える影響が不透明であることから、現時点では通期の連結業績予想を据え置いております。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,349	60,811
受取手形及び売掛金	133,033	130,399
商品及び製品	28,513	26,832
仕掛品	19,309	19,908
原材料及び貯蔵品	18,788	19,596
その他	10,767	12,766
貸倒引当金	△385	△397
流動資産合計	246,374	269,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,514	57,453
機械装置及び運搬具（純額）	49,104	49,445
工具、器具及び備品（純額）	5,658	6,408
土地	54,587	54,641
建設仮勘定	8,894	7,177
有形固定資産合計	173,757	175,124
無形固定資産		
のれん	1,555	1,222
その他	4,312	5,320
無形固定資産合計	5,867	6,542
投資その他の資産		
その他	44,273	43,691
貸倒引当金	△267	△249
投資その他の資産合計	44,006	43,442
固定資産合計	223,630	225,108
資産合計	470,004	495,023

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,826	67,953
短期借入金	62,670	64,177
未払法人税等	2,654	2,085
その他	33,191	31,575
流動負債合計	162,341	165,790
固定負債		
社債	653	621
長期借入金	69,299	83,705
退職給付に係る負債	20,115	20,529
堆砂対策引当金	10,609	9,245
その他	5,789	5,734
固定負債合計	106,465	119,834
負債合計	268,806	285,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	46,525	46,525
資本剰余金	18,983	18,992
利益剰余金	119,108	125,451
自己株式	△69	△107
株主資本合計	184,547	190,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,230	3,143
繰延ヘッジ損益	△120	32
土地再評価差額金	145	145
為替換算調整勘定	1,084	1,389
退職給付に係る調整累計額	△1,611	△1,440
その他の包括利益累計額合計	1,728	3,269
非支配株主持分	14,923	15,269
純資産合計	201,198	209,399
負債純資産合計	470,004	495,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	349,651	313,002
売上原価	279,639	248,683
売上総利益	70,012	64,319
販売費及び一般管理費	51,972	48,760
営業利益	18,040	15,559
営業外収益		
その他	2,782	2,893
営業外収益合計	2,782	2,893
営業外費用		
支払利息	914	802
その他	2,034	2,557
営業外費用合計	2,948	3,359
経常利益	17,874	15,093
税金等調整前四半期純利益	17,874	15,093
法人税、住民税及び事業税	3,693	3,526
法人税等調整額	1,161	1,176
法人税等合計	4,854	4,702
四半期純利益	13,020	10,391
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,330	951
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,690	9,440

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	13,020	10,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	429	951
繰延ヘッジ損益	17	152
為替換算調整勘定	△606	541
退職給付に係る調整額	97	186
持分法適用会社に対する持分相当額	△394	△172
その他の包括利益合計	△457	1,658
四半期包括利益	12,563	12,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,366	10,981
非支配株主に係る四半期包括利益	1,197	1,068

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	78,339	77,665	125,189	68,458	349,651	—	349,651
セグメント間の内部売上高又は振替高	27,644	18,005	8,949	330	54,928	△54,928	—
計	105,983	95,670	134,138	68,788	404,579	△54,928	349,651
セグメント利益	9,105	2,798	6,159	2,669	20,731	△2,691	18,040

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,691百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属㈱の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	64,510	70,347	113,182	64,963	313,002	—	313,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,681	16,201	8,906	334	47,122	△47,122	—
計	86,191	86,548	122,088	65,297	360,124	△47,122	313,002
セグメント利益	6,878	3,198	4,987	2,926	17,989	△2,430	15,559

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,430百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属㈱の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。